



## 八雲町で2校目！大学と地域が連携する地域づくり！ 八雲町、北里大学連携協定締結式

7月6日、八雲町と北里大学は、八雲生まれ「北里八雲牛」のブランド化推進や、優れた人材の育成など、地域活性化や学術振興を目的とした連携協定を結びました。八雲町と大学の繋がりは、昭和51年に北里大学八雲牧場が上八雲地区に開設された事から始まります。牧場では、開設当初より、教育・研究用として牛を飼育しており、平成6年には、当時の輸入飼料に頼った畜産界の常識を覆す、牧場産自給飼料100%の牛肉生産方式を実践しました。現在は獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場として、環境保全型畜産の教育・研究の場となっており、今後は今まで蓄積したノウハウを活かして取組みを行う予定です。



## 地元経済活性化の呼び水に！

**プレミアム付き  
「ひまわり商品券」  
3日間で完売！**



7月10日、八雲商工会は八雲・落部・熊石の3地区で2万セット2億円分を販売し、販売3日目となる7月14日には完売しました。

初日、はぴあ八雲では、販売開始の10時に約550人が並び、長蛇の列となりました。

列に並び購入した方達は商品券の使い方について「普段食べられないものを食べたい」「車の頭金にしたい」「子ども達のものを買いたい」と笑顔で語りました。



## 八雲・近隣町の特産物・情報を紹介！

**高橋はるみ北海道知事  
「丘の駅」視察**

7月12日、八雲観光物産協会が運営する八雲町情報交流物産館「丘の駅」を高橋知事が視察しました。

岩村町長、協会の平野百合子会長及び丘の駅担当者らが、八雲町の歴史や販売されている農水産物などの説明を行い、丘の駅が八雲町や周辺地域の情報発信や産業振興の場としての機能を担っている事を高橋知事にPRしました。



## 夏の交通安全運動！事故をゼロに！

**野田生中SD作戦・落部地区 旗の波作戦！**

夏の交通安全運動の期間、各地で交通安全事故ゼロを目指し各地域で様々な取組みが行われました。

7月14日、東野地区の国道5号線沿いで野田生中学校の生徒約30人が、20数年続くSD(セーフティードライバー)作戦として、車の運転者に対し、交通安全をお願いするセーフティーレターを一人ずつ渡し、交通安全の啓発を実施しました。

また、7月16日には、落部地区で八雲警察署落部駐在所が呼びかけ、旗の波作戦を実施。落部小・あかしや保育園・落部連合町内会の方々など約170人が地域の交通安全を守るために、国道5号線沿いに並び、運転者に対し交通安全を呼びかけました。

